

プレス加工における“われ”・“スプリングバック”の発生メカニズムとその対処法

日時

2020年6月2日(水)

10:30~16:30

受講料

1名 45,000円+税

2名以上1名 42,000円+税

会場 ちよだプラットフォームスクウェア(東京 神田錦町)

025 本講座は、まず、材料試験法の基礎とそこから得られる塑性変形特性の評価方法について解説します。次に、プレス加工における材料の塑性変形特性の代表的不良現象である“われ”について、その発生メカニズム、評価方法、対策技術について解説し、さらに、プレス加工における代表的な成形法である「絞り」と「曲げ」について、材料の変形モード(ひずみ分布)、材料内部に発生する応力の様態、それらを塑性力学に基づいて計算する手法(初等解法)について基礎的な考え方を講義します。そして、それらを踏まえ、絞りの成否に及ぼす影響因子と絞り限界の向上策、曲げ加工に伴って発生するスプリングバックの発生メカニズムとその対策技術について解説します

講師

東京農工大学大学院 工学研究院 先端機械システム部門
教授 工学博士 桑原 利彦 氏

ちよだプラットフォームスクウェア

会場案内

東京都千代田区神田錦町3-21

TEL 03-3233-1511

FAX 03-3233-1501

地下鉄東西線 竹橋駅下車

3b KKRホテル東京玄関前出口より徒歩2分

都営地下鉄三田線・新宿線・半蔵門線

神保町駅下A9より徒歩7分

JR中央線 神田駅西口下車徒歩12分

地図はGoogle Map をご参照願います

プログラム(各項目とも質疑応答含む)

- ・プレス成形における変形様式の分類
 - ・材料試験の基礎と塑性変形特性評価
 1. 単軸引張試験
 2. 2軸応力試験
 - ・プレス成形における“われ”の発生メカニズムと対策
 1. スクライドサークルテスト
 2. 成形限界線図(FLD)
 3. 成形限界ひずみのひずみ経路依存性
 4. 破断回避の対策技術
 5. 成形限界応力線とその活用法
 - ・絞り
 1. 絞りの概要
 2. 絞りにおける材料の変形
 3. 絞りにおける応力の伝達と絞り性の向上策
 4. 絞り比と絞り率
 5. 絞り加工に影響を及ぼす因子
 6. 円筒絞りの初等解法
 - ・曲げ
 1. 曲げにおける板の変形と応力状態
 2. 曲げの初等解法
 3. スプリングバックの計算
 4. スプリングバックの対策技術
 5. 引張曲げによるスプリングバック評価法(JIS H7702)
- Solution and Consulting / 質疑応答
【事前アンケートのご質問について解説致します】

<お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX 電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名住所・連絡先(TEL・FAX・E-mail)をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかをお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルはお受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

お申込・お問い合わせは 主催 ISS産業科学システムズ

URL <http://www.ebrain-j.jp/>

TEL 03-3264-5635 / 044-986-3474

Mail uketsuke@ebrain-j.jp

FAX 044-272-5451

講座参加申込書

プレス加工における“われ”・“スプリングバック”の発生メカニズムとその対処法
太枠内をご記入の上 PDFファイルでMailまたはFAXで 2020.6.2 ISS

セミナーコード

1101-200602

社名	所在地	〒	電話	()
No.	所属部課(正式名称)	氏名	E-mail	アドレス
			FAX	()
窓口部署			お支払予定	当日ご持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他				